

▼協賛いただいた西別府代表取締役 (写真左)



協賛をいただきました

6月17日、株式会社真心塗家から、わたSHIGA輝く国スポ・障スポ愛荘町アーチェリー競技開催へ協賛いただき、自治会用回覧板300枚、ティッシュ1,000枚の計302,500円相当をご提供いただきました。

同社の西別府代表取締役は「町民の皆さんに支えられてここまで来られました。今後も地元の企業として、愛荘町に恩返ししていきたいです」と話され、有村町長から感謝状を受けられました。

協賛品は、2025年に開催される国スポ・障スポの機運醸成のために活用させていただきます。



▼3人1組で火おこし体験に挑戦する児童



火おこし体験 昔のくらしにふれてみよう!

6月18日、愛知川東小学校6年生が依智秦氏の里古墳公園で火おこし体験を行いました。

体験では、まい切り式火おこし器を使って、グループごとに火おこしに挑戦しました。最初は、なかなか火がつかず、「こんなに大変なの!？」と驚きの声があがっていましたが、仲間と協力するうちに、煙が上がり、火種ができると大歓声があがりました。

また、古墳の内部に入る体験も行われ、児童たちは、「古墳の中は思ったより広くて、とても涼しかった」と話していました。

普段はなかなか味わえない「火をおこす」という体験を通して、児童たちは昔の人々の知恵や生活の工夫、仲間と協力することの大切さを学びました。

▼ナイトウォークを楽しむ参加者



夜風を感じて歩こう! ナイトウォーク

6月の毎週火曜日、午後8時からスポーツ推進委員による前期ナイトウォークを開催しました。

今年は天候に恵まれず、実施できたのは6月17日のみでしたが、多くの方にご参加いただきました。

今回は初の試みとして、愛知川図書館から中央スポーツ公園までの2.5kmと3.5kmの2コースを設定し、参加者はそれぞれのペースで夜風を感じながら心地よい汗を流しました。

後期は11月、ラポール秦荘での開催を予定しています。健康アプリ「BIWA-TEKU」のポイント付与対象事業です。ご家族やご友人と一緒に、ぜひご参加ください。

▼春日井ストアマネジャー (写真左)



災害時に備え ダイナムと協定を締結

6月23日、愛荘町は株式会社ダイナムと「災害時等における施設利用の協力に関する協定」を締結しました。

本協定により、災害時にはダイナム滋賀愛知川店の敷地の一部を、車両の退避場所や応援機関の活動拠点としてご提供いただくこととなります。

これにより災害時における町民の皆様の安全確保や、迅速な応急対策が期待されます。

今回の協定を機に、有事だけでなく平時からの連携を深めるとともに、地域の企業や団体とともに協働のまちづくりを進めてまいります。



▼スコップの使い方を教わる園児 (写真左)



土に触れてにっこり さつまいも植え体験

6月27日、町内保育園を対象としたさつまいもの苗植え体験がJA東びわこ南側圃場で行われました。

園児たちは、愛荘町農遊倶楽部の皆さんの話を聞き、「穴は深めに開けようね」「やさしく土をかぶせるんだよ」と声をかけ合いながら、小さな手でひとつひとつ丁寧に苗を植えていました。

また、苗植えの後に園児たちはペットボトルで水やりをしながら、「おいもが大きくなるといいな」「たくさんおいもができるといいな」と話し、秋の収穫を楽しみにしている様子が見られました。

10月には、さつまいもの収穫体験が行われます。



▼笑顔の壽雄さん



100歳おめでとうございます!

7月6日、持元 壽雄さん(元持)が100歳の誕生日を迎えられました。壽雄さんは若くして父を亡くし、住職として寺を護りながら中学校の教師として家族を支えてこられました。また、保護司としても長年にわたり、保護観察対象者の立ち直りに尽力されました。

住職退任後も、速夜参りなどで門徒との交流を大切に、速夜参りの際には門徒と話がはずみ、帰宅が遅くなることもあったそうです。

ご家族は「若いころから家族のために苦労してきたので、今は好きな読書やテレビを楽しみ、元気で長生きしてほしいです」と話されていました。

▼柔仁会



第60回滋賀県小学生柔道大会

6月29日、第60回滋賀県小学生柔道大会が湖北TGHツインアリーナで行われ、至誠館と柔仁会の選手が入賞しました。

至誠館【個人戦】
2年女子 3位 中村 優愛 5年女子 優勝 外村 心璃

柔仁会【個人戦】
1年女子 優勝 田中 柚月 1年女子 優勝 小森 結葉
2年男子 3位 中島 鈴桜 3年男子 優勝 結城 綾真
4年女子 3位 山内 心々来
4年男子 優勝 小森 澁雅 3位 村川 倅樹
5年女子 準優勝 福永 帆乃香 5年男子 3位 結城 皇成
5年男子 3位 杉谷 優真仁 6年女子 優勝 篠原 優希

柔仁会【団体戦】
低学年の部 準優勝、高学年の部 準優勝

▼笑顔の星江さん



100歳おめでとうございます!

7月6日、林 星江さん(豊満)が100歳の誕生日を迎えられました。星江さんは幼い頃は病弱でしたが、文章に親しみ、優しく前向きな性格で、女学校の水泳では「沈みながらも良い成績をもらえた」と喜ばれていたそうです。また、良き伴侶と共に家業を支え合い、家族との温かな日々を過ごしてこられました。

ご家族は「名前のとおり星のように明るく、かけがえない存在です。孫の私が悩んでいたとき、『柿のように生きたらいいのよ!』と声をかけてくれたその言葉は、私の人生の格言です。100歳を迎えるまで同じ時代を共に過ごせることが幸いです。これからも穏やかに過ごしてほしいです」と話されていました。